

会 議 録

1 会議名

第12回柿崎区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

・平成31年度のスケジュールについて

(2) 報告事項（公開）

・市からの報告

・平成31年度柿崎区における主な事業について

(3) その他（公開）

・新年度 第1回柿崎区地域協議会の開催について

3 開催日時

平成31年3月19日（火）午後6時から6時58分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く） 氏名（敬称略）

・委員：小出優子（会長）、金子正一（副会長）、薄波清美、太田健一、片桐充、加藤満、白井一夫、佐藤健、武田正教、楡井隆子、引間孝史、吉井一寛、渡邊征雄

・事務局：柿崎区総合事務所 滝澤良文所長、佐藤誠司次長、風巻雅人総務・地域振興グループ長、山田幸江産業グループ長、柳澤一幸建設グループ長、島岡聡市民生活・福祉グループ長、平野真教育・文化グループ長、唐澤幸代地域振興班長、長井英紀主任（以下グループ長

はG長と表記)

8 発言の内容(要旨)

【佐藤次長】

- ・会議(地域協議会)の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明

【小出会長】

- ・会長挨拶
- ・会議録署名委員に金子正一委員を指名

【小出会長】

- ・協議事項、資料No.1、資料No.2に基づき「1 地域協議会開催日時」について説明。
この案のとおりでよいか。

【委員】

発言なし

【小出会長】

では、この案のとおり地域協議会を開催させていただくこととする。
次に資料No.1「2 事業の取組」について、金子副会長から説明していただく。

【金子副会長】

視察研修については、今のところ何も決めていないが、実施するという方向でよろしいか。

現在、今年度の懇談会を実施中だが、今後、保育園のことについて保護者会と

懇談することが出てくるのか、町内会役員の方々と懇談することになるのか、今後の進み具合いで方向性が定まってくると思う。次年度の懇談会については進み具合を見ながらどうしていきべきなのかと思っている。

まちづくりフォーラムについてだが、我々の任期は来年で終わりになる。前期のときは、4年間の活動報告会のようなことを実施した。内容は、佐藤前会長が地域協議会の4年間の総まとめ的な報告を行った。前期は3つの部会があり、部会長がそれぞれの部会の活動を報告した。また、次期の改選について事務局が内容を説明した。今回は1年後にどういう形であるのか方向性を決めておきたいと考えている。

各委員会は現在も継続して協議を進めていると思うが、まちづくりフォーラムについて、委員の皆さんにお諮りしてもらいたい。

【小出会長】

いかがか。

【片桐委員】

資料No.2にある4月、5月、6月の開催日の変則的である。第3火曜日でない理由を説明していただきたい。

【小出会長】

地域活動支援事業の審査の都合で4月から6月は変則的になっていることを地域協議会で説明している。

【金子副会長】

地域活動支援事業のスケジュールにあわせて、地域協議会を行うこととなったものである。

【片桐委員】

認識不足だった。

まちづくりフォーラムについては、今すぐに決めなくてはならないものではない

いと思う。地域協議会の会議を進める中で実施する形で正副会長に一任でよいと思う。

【吉井委員】

まちづくりフォーラムをやろうとすると任期の最後ぐらいになってしまう。まちづくりフォーラムをやるか、やらないかを含めて、各委員の皆さんが持ち帰って次回の地域協議会のときにもう一度話し合ったらどうか。私としては自分たちでやったことを自画自賛してもしようがないと思う。住民の方々が地域協議会に何を期待しているのかというと、我々はこんなことをやろうと思ったができなかったというようなフォーラムならば、意味があるのかなと思う。

【小出会長】

吉井委員から持ち帰って次回の地域協議会で決めたらどうかということと、自分たちがやり残したことを報告したらどうかということですが、やったことを振り返らないとやり残したことが見えてこないとも言える。

【太田委員】

この次の地域協議会で話し合うことでよいと思う。まだ、懇談会で七ヶ地区が残っている。柿崎地区、川西地区、黒川・黒岩地区、下黒川地区と懇談会を行った。特に川西地区では、保育園について地域協議会で提案した資料ありきなのかという話が随分あった。いずれにしても保護者会、町内の代表者会との話し合いが必要だと強く感じた。地域協議会として、そうした機会を作った方がよいと思う。

【小出会長】

懇談会のアンケートでも保育園の保護者にも意見を聞いてほしいとか、小学校を含めて一緒に説明会をやってほしいという声も挙がっていた。

【佐藤委員】

先日、川西地区の懇談会をやったが、私としては4月になってから町内会でそ

ういう課題について意見交換をしようと考えている。懇談会には2、3人の関係者しか出席しておらず、そのほかの保護者の意見が何も吸い上げられないこともおかしいと思う。4月に上下浜町内会の役員会があるので、その中で諸団体との意見交換を再度やっていきたいと考えている。上下浜町内会としての意見を提案していきたいと考えている。

【小出会長】

懇談会とまちづくりフォーラムのことについて、委員の意見を伺っている。ほかに意見はないか。

【佐藤委員】

まちづくりフォーラムは、平成30年度は開催しないこととしたのではないか。

【小出会長】

平成30年度は懇談会と一緒にしたため、まちづくりフォーラムは実施しないことを以前の地域協議会で決めていただいた。平成29年度はまちづくりフォーラムを開催しており、平成31年度のまちづくりフォーラムで、今回の振り返りや、やり残したことをまとめた方がいいのではないかと、ということで協議している。

【金子副会長】

平成31年3月までが平成30年度なので、懇談会を行うため、スケジュール的にまちづくりフォーラムを行うのは無理だから、平成30年度のまちづくりフォーラムはやめようということになった。今は、次年度のまちづくりフォーラムをどういう形で実施するかということを確認している。先ほど、吉井委員も言われたように、皆さんそれぞれが検討していただき、次回の地域協議会で話し合えば間に合うことなので、それでよいと思う。

【小出会長】

ほかに意見がないようなので、次に移る。

資料No.1の「3各種委員会」について説明する。地域の交通を考える会、みんなの保育園を考える会、地域協議会だより編集委員会を次年度も継続することとする。また、必要に応じて委員会を設置する。今年度は懇談会実行委員会を設置した。

・「その他」について説明。

【小出会長】

(2) 報告事項にうつる。平成31年度柿崎区における主な事業について、資料No.3を各G長から説明していただく。

【各G長】

総務・地域振興G長、産業G長、建設G長、市民生活・福祉G長、教育・文化G長の順に説明。

【金子副会長】

11番の多面的機能支払交付金について質問する。国・県・市が農業の多面的機能を維持する活動を支援するものだが、5年でひと区切りになり、平成31年度から新しい期が始まる。減額になるかもしれないと聞いたもので、そのあたりをお聞かせいただきたい。

【滝澤所長】

多面的機能支払交付金は、年々制度の見直しがある。農地維持や長寿命化活動は別々の予算だったが、その中で流用が認められてきた。あくまでも取組面積に応じた予算額であり、今は取り組まれる想定のもとで積算している。結果的に減額になる可能性があるのは、日本型直接支払の多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払、中山間地域等直接支払もみんなそうで、取組まれた実績に応じて支払われるが、予算的には減るという状況ではない。

【佐藤委員】

現在、市議会開会中であるが、資料の冒頭に「この内容は、予算の成立を前提

としたものです」とある。柿崎区としては、だいたいこの線でいけそうなのか。

【滝澤所長】

柿崎区として判断するものではないが、各委員会はずでに終わっていることから、最終的には議員の皆さんから議決いただけるものと考えられる。

【小出会長】

ほかにかがが。特にないようなので、報告事項を終わりにする。

【小出会長】

(3) その他に入る。地域協議会委員から何か意見があるようなら、ここで発言をお願いしたい。

【渡邊委員】

前回、話した内容も絡むが、皆さんからの意見もいただき、いろいろと検討した。今後、地域活動支援事業の細かいスケジュールもあり、すでに地域の交通を考える会、みんなの保育園を考える会もある。せわしい中になると思うが、私の気持ちとしては、地域協議会の中に「柿崎地域の活性化検討委員会」というようなものを立ち上げていただきたいと思う。私自身も一緒に検討していただける方2、3人に声をかけて、将来これを自主的審議事項にあげること目標に掲げ、この地域を活性化することを話し合い、あるいは皆さんから情報をいただきながら、委員会として検討していきたいと考えている。地域協議会として、この委員会を立ち上げることについて、ご意見をいただきたい。

【小出会長】

渡邊委員から「柿崎地域の活性化検討委員会」を立ち上げたいという要望が出たが、いかがか。

【加藤委員】

地域協議会委員だけでなく、広くほかの人も募集して検討委員会を立ち上げる

ということか。

【渡邊委員】

地域協議会委員以外の構成メンバーは、考えていない。検討期間は新年度に入ってから12月頃までを目途にして、模索してみたい。4、5人の地域協議会委員で自分もやってみたいという方が1人でも承諾していただければと思っている。

【金子副会長】

以前の地域協議会でも、道の駅構想という大きなプランの提示があった。それとはまったく切り離れた中の勉強会的なものなのか、それともある程度、渡邊委員の中で妙案があって、そこへ進めていきたいというものがあるのか、その辺が方向性として見えていない面があるので、そこだけでも認識をお聞かせ願う。

【渡邊委員】

以前に提案した道の駅構想は白紙に戻して、もう一度、何か地域でこういうことができればいいということが案として出てくることを期待して取り組んでいきたいと思っている。

【太田委員】

非常に前向きな意見であるが、地域活動支援事業等々でそれぞれ地域の皆さんががんばっている。ほかの団体でも色々なことをやりながら、がんばっているのではないかと思う。特に地域協議会でどうこうということは、やらなくてもいいのではないかと感じている。

【榆井委員】

地域協議会自体が柿崎地域の活性化を目的としていろいろ活動している組織だと思う。その中でまた新たに「柿崎地域の活性化検討委員会」を作るということは、ちょっと違和感がある。

【小出会長】

ほかにいかがか。

【佐藤委員】

先ほど話があったように、地域活動支援事業等いろいろとやっているの、ここで新たにこういう会を立ち上げようということ自体が地域協議会として「うーん」と考えているので、これは今日ここで結論を出すべきものではないと思う。検討事項としていただければよいと思う。

【小出会長】

引間委員いかがか。

【引間委員】

榆井委員と同じ意見である。地域協議会そのものが柿崎区の地域活性化を目的のひとつとしているので、その中に新たに「柿崎地域の活性化検討委員会」を作るのは違和感がある。もっと目的を絞った委員会を発足するのであれば、また考え方も違うと思う。

【小出会長】

白井委員いかがか。

【白井委員】

渡邊委員に具体的なプランがないという話であり、柿崎地域の活性化のために地域協議会がある中で、榆井委員が言われたように屋上屋を重ねることも必要なのかと思う。もう少し、渡邊委員から情報収集をしてもらい、その結果、こういうものがあるということが提示されるのであれば、そのときに再度考えたらどうか。

【小出会長】

武田委員いかがか。

【武田委員】

我々も地域の交通を考える会、みんなの保育園を考える会、地域協議会だより編集委員会と委員がだぶって各会のメンバーになっている。それだけでも毎月1回会合があり、地域協議会がある。それにまた「柿崎地域の活性化検討委員会」を作り、どれだけの進展があるのか。青写真がしっかり出てきて、これを進めるために委員会を作って具体化していくのであれば分かる。漠然とした中で委員会を作るのはどうかと思う。逆に我々が地域を活性化するのであれば、地域活動支援事業で、いろいろな取組に結び付けてあげる形で助言する方が委員の立場としてはあっているのかなという気がする。

【小出会長】

ほかにいかがか。おおむね、皆さんの意見としては、もし渡邊委員が調査・研究されていかれ、また提案があれば、引き続き検討してもいいのではないかという意見が出たと思う。今日は持ち帰っていただき、継続してまた考えていくという方向でよいか。

【委員】

発言なし。

【金子副会長】

もう1会場、七ヶ地区で懇談会がある。七ヶ地区は2年前の懇談会で自分たちの生活圏の中で公共バスがなく、困っているという課題があった。24日にたたき台の案を持って懇談会に行くわけだが、町内会長には「柿崎区地域協議会だより臨時号」と一緒に参加案内と、多くの地域住民からも参加いただくようお願いの文書がいつている。前回17日の懇談会では、町内会長があまり参加していただけなかったので、七ヶ地区の町内会長に電話で再度参加要請するのはどうか。せっかく七ヶ地区に行くのだから、ある程度の人から集まっていたほしいと自分なりに考えている。皆さん、どう考えておられるか。公共バスの課題は、もともと七ヶ地区から意見があった課題でもあるので、なるべく多くの人が

いけばよいと思っている。

【吉井委員】

副会長の提案だが、すでに4会場が終了しているので、七ヶ地区だけを特別にというのは、やめたほうがよい。その場に参加した人を見て、状況を把握したほうがよいと思う。

24日の懇談会が終わった後、集計を誰がいつ頃に終わらせて、データとしてまとまるのかという話を懇談会実行委員会の中でしていない。会長、副会長に聞いていいのか分からないが、どう考えているのか。

【小出会長】

3会場分のアンケートは私がまとめてある。黒川・黒岩地区のアンケートの集計はまだである。残る七ヶ地区は懇談会が終われば、すぐにでも集計できる。

【吉井委員】

できあがりのスケジュールを明示されていない。次回の地域協議会は5月8日である。平成31年度に地域の交通を考える会としては、何とか意見書までまとめたいと考えている。早く懇談会結果をまとめてもらって、地域の交通を考える会を開催したいと思っている。できれば、5月8日の地域協議会で、こんな形でいけるのではないかということを示したいと思っている。5月8日までの約ひと半月がもったいないと思っているので、会長、副会長は何か方策を考えているか。

【小出会長】

アンケートはすぐにまとまるので、急いでいるのであれば、3月中に懇談会実行委員会を開くことは可能である。その中で、どうするかということを検討させていただきたいと思う。地域協議会終了後に懇談会実行委員会の日程を決めたいと思う。

【佐藤委員】

資料No.1は、案として配られている。これについて、もう少し内容を分かりや

すく書いていただきたい。漠然としている。たとえば、事業の取組にある柿崎区地域協議会委員の視察研修は、岐阜県関市に行ってきたことは分かる。今後、このようなことをやるということが詳細に書かれていれば、理解しやすい。この案についての説明や議事進行は少し疑問に思う。いかがか。

【小出会長】

資料No.1は、前年度振り返りという意味で、前年度のことが記録としてここに掲載されている。

【小出会長】

今後検討してこれらをやるという方向であるので、埋めていきたいと思っている。

ほかに何かあるか。

【委員】

発言なし

【小出会長】

次回の日程を連絡する。

- ・新年度 第1回柿崎区地域協議会

日 時：5月8日（水）午後6時～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 305～307会議室

【小出会長】

事務局から地域活動支援事業のスケジュールを確認の意味で簡単に説明していただく。

【長井主任】

地域活動支援事業のスケジュールについて説明

【小出会長】

- ・閉会を宣言

(午後 6 時 5 8 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。